

全国都市緑化フェア in 京都丹波



- おすすめ観光スポット P.3~4
- 歴史文化・産業観光 P.5~6
- 広域観光マップ P.7~8
- 食の京都TABLE・道の駅 P.9~10
- おすすめモデルコース P.11~14

本当の「緑」を、ともに発見しませんか？

全国都市緑化フェアは、国民ひとり一人が緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業として、1983年から毎年、全国各地で開催されている花と緑の祭典です。

第43回となる全国都市緑化フェアは京都丹波が舞台。

亀岡市、南丹市、京丹波町、京都府がその地域色豊かな環境や風景、文化を発信し、訪れた人々とともに新たな魅力を発見してゆく、大規模なイベントとなります。

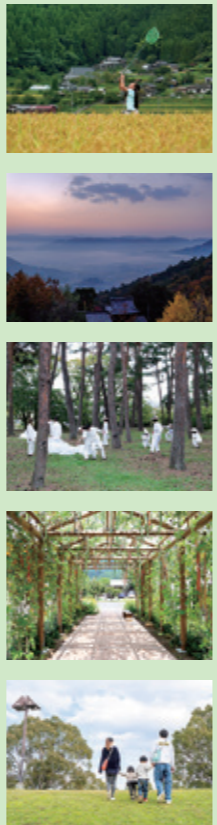
ここ京都丹波にしかない、緑のこえを一緒に探しましょう。

京都丹波みどりの里まつり (第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波)とは？

今回のフェアは「丹念に手入れされてきた京都丹波という名の広大な庭園にゲストを招待し、豊かな実りを披露するフェア」。新しく何かを作り出すのではなく、もともとある自然や暮らしというキャンパスに、食やアートという彩りを添えて、訪れる人々を温かく迎え入れ、その価値を未来へとつなぐ架け橋となるフェアを目指します。



- 1 テーマは「食農と環境そしてアートで輝く『京都丹波』」**
 もともとある豊かな里山や農地といった自然を活かし、それらに触れることでその価値を再認識していくというアプローチをとっています。京都丹波全体を会場に見立て、伝統的な自然景観とそこで育まれた豊かな食文化、さらには芸術家の作品を掛け合わせた魅力を発信します。
- 2 ありのままの京都丹波**
 京都丹波を優しく包み込む幻想的な丹波霧と豊かな水系が形作る山、川、水田、畑などが一体となった日本の原風景ともいえる風土そのものを展示の根幹に据え、先人が守り育ててきた自然と人々の暮らしの調和をありのままに披露します。
- 3 アートによる空間演出**
 京都丹波に関わりを持つ多くの芸術家やデザイナーの協力を得ながら、より花と緑と芸術が調和した空間を創出します。
- 4 拠点ごとの個性的で多様な体験空間**
 天然記念物アユモドキとの共生を図るオーガニックビレッジパーク、約800万本が咲き誇るコスモス園、ヘビウリの緑のトンネルなど各フェア拠点で地域資源を活かした多様な体験を用意します。
- 5 地方の小規模自治体が連携して開催する新たな試み**
 2市1町合わせて人口約13万人の京都丹波で自治体同士が連携して開催することで、規模が小さくても地域本来の魅力を活かして開催することができることを示し、地方創生のモデルケースとなる先進的な取り組みを目指します。



5つの 拠点を紹介

美しい花々とともに、京都丹波みどりの里まつりは、アートや食農、環境、里山の暮らしを五感で体感できる祭典。京都丹波エリアの魅力や多彩な催しを楽しみ尽くそう！

京都・亀岡保津川公園および周辺

日本の原風景とアートの共鳴
放置竹林の竹を活用したアート作品や農小屋アートなど、里山の自然と調和した作品を多数設置。日本の原風景がアートと共鳴し、訪れる人々にかつてない感動をお届けします。

青空の下の里山マルシェ
京都丹波の豊かな大地で育まれた新鮮な農産物が集まります。採れたての里山の恵みを青空の下で味わい、心も体も満たされる特別なマルシェです。

希少種アユモドキと共存する公園
この拠点は、国の天然記念物アユモドキが息づく特別な場所。ピオトープや共生ドームを設置し、多様な生物と共に生きる「共存」と「いのち」の尊さを学べます。

亀岡運動公園および周辺

生まれ変わったステージで放つ渾身のパフォーマンス
リニューアルしたステージで、様々な熱いパフォーマンスが繰り広げられます！ダンスや音楽ライブなど、渾身のステージをお見逃しなく。

世界で活躍する庭園デザイナーが贈るメインガーデン
チェルシー・フラワー・ショー金賞13回の偉業を達成した庭園デザイナー石原和幸氏。世界最高峰の巨匠が、至高のランドスケープを創造します。

わち山野草の森および周辺

山野草
約900種類の山野草や花木などが息つき、四季折々に美しい花・風景を満喫することができます。素朴な草花や花木などを見ながら散歩して、心身ともにリフレッシュしていただけます。

みどりのトンネル
京丹波町産木材で作られたみどりのトンネル。トンネルの周りには、たくさんの植物が植栽されています。そのなかでも、「カンアオイ」「ヒメカンアオイ」は京都府の絶滅危惧種・天然記念物に指定されている「ギフチヨウ」の幼虫の食草となっています。

園部公園および周辺

山頂公園
「京都の自然200選」にも選定されている小栗山の山頂を、芝生広場として整備します。山頂からは京都丹波の眺望が楽しめます。

全国養生大会&マルシェ
日本養生普及協会が毎年開催する全国大会。京都丹波の食材を活かして、食と健康の関係性を学びながら楽しむマルシェも同日開催します。松茸も出るかも！

日本最後の城<園部城跡>VR体験
日本で最後に築城された園部城。巽櫓・櫓門（現在は園部高校の校門）・番所は京都府暫定登録文化財。VR体験で往時の面影を楽しめます。

京都府立丹波自然運動公園および周辺

京丹波マルシェ
毎年京丹波町で開催される、食をテーマにしたイベント。京都丹波ならではの食の魅力を存分に味わえます。期間中はマルシェのほか、食にまつわる催しや多彩なイベントもお楽しみいただけます。

菊の展示
毎年10月下旬から開催されている菊花展。2026年は緑化フェアにあわせて10月初旬から展示を行います。公園と日本菊花全国大会で二連覇した須知高校の菊をはじめ、菊愛好家や地域の皆さまが丹精込めて育てた色とりどりの菊をお楽しみください。

京丹波行き

■ アクセスの基本 JR嵯峨野線・山陰本線

JR嵯峨野線は、京都駅と亀岡駅(快速約20分)・園部駅(快速約36分)を結び、京丹波へアクセスする基本です。途中下車すれば、亀岡市、南丹市の観光スポットに直行できます。京丹波町へは、園部駅から和知駅まで約35分。バスでは、園部駅から園福線の利用が便利です。

■ 京都縦貫自動車道

京都丹波地域を縦断する京都縦貫自動車道は、平成27年度に全線開通し、名神大山崎JCTから亀岡15分、園部30分、丹波35分で行けるようになりました。

■ 阪急京都線「桂駅」から京都丹波へ

阪急電鉄京都線「桂駅」(東口)とJR嵯峨野線「亀岡駅」前を、路線バスが結びます。所要時間約40分で一気に京都丹波へ。

■ 嵯峨野トロッコ列車

京都・嵯峨野-亀岡間7.3kmを約25分で結ぶ観光列車。1989年まで山陰本線として利用されていた路線。溪谷に沿って蛇行し眼下に広がるパノラマは最高です。休休日：不定休。季節により臨時列車運行日、部分連休あり。12月30日から2月末日まで冬期運休。公式ホームページにてご確認ください。全席指定。

● JR西日本お客様センター
TEL 0570-00-2486

● 中京交通
TEL 0771-63-0521

● NEXCO西日本お客様センター
TEL 0120-924863

● 京阪京都交通
TEL 0771-23-8000(亀岡営業所)

● 嵯峨野観光鉄道テレフォンサービス
TEL 075-861-7444

